260



医療法人洗心会

荒尾こころの郷病院

令和4年5月発行

爾乙病療 機作ろう金



桜が満開を迎えるころ、例年であれば外で花見をしていましたが、 コロナ禍により、開催することができませんでした。そこで南2病 棟では、少しでも春を感じてもらえるよう、令和4年3月23日に桜 を作ろう会を開催することにしました。その名の通り、みんなで協 力し、満開の桜の木を作ろうをコンセプトに創作を行ないました。 皆様には、それぞれ役割を持っていただこうと思い、病棟内に隠し た桜の花びらを探し回る役や、木の枝や蕾を作る役、出来たものを 貼る役とで役割分担を行ないました。皆さん自主的にそれぞれの役 割を担っていただいたことで、二本の大きな桜の壁面画が完成!

最後は回転饅頭と甘酒を堪能していただきました。来年こそは、 外で花見ができたらいいですね♪







爾] 病源 お花見金



お花見日和の晴天に恵まれた3月29日。グラウンドでお弁当を… と計画していましたが、残念ながら新型コロナの影響で外に出られ ず…。それでも患者さんには年に一度の桜の季節を味わっていただ きたく、スクリーンで桜の映像を映し出すことにしました。全国の 桜の名所をバックに『叩いてかぶってじゃんけんポン!!』を行いまし た。ビッグハンマーとヘルメット代わりのボウルを準備し、参加者 の掛け声でゲームスタート!!遠慮してなかなか叩くことができない 方、これでもかというくらい叩き続ける方、勝ったのにボウルを被 って守りに入る方など様々で、会場は笑いの渦に包まれました。

最後は、注文したお弁当を食べました。普段、なかなか食事が入 らない方もこの日は、残さず食べられ、スタッフも驚きと嬉しさで いっぱいでした。楽しい雰囲気作りはとても大切ですね。来年は外 でお弁当を食べながら、お花見ができますように…。









荒尾こころの郷病院

基本理念

1.思いやり医療

常に思いやりの心を忘れ ず、患者様中心の医療を行 います。

2.トータルケア

地域・家庭・病院が一体とな って、総合的で一貫したケ アを行います。

3.チーム医療

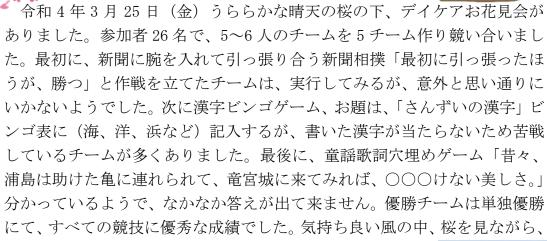
医療・保健・福祉が連携し て、チーム医療を行います。

ちょこっと 情報局

5月5日のイベント として有名なのが「こ どもの日」です。

もともとは「端午の 節句」として災いを避 けるための中国の行事 が由来になっているこ とは、あまり知られて いません。日本では、 こいのぼりが風物詩と なっています。青空の 下で大きく泳ぐこいの ぼりを探してみてはい かかでしょうか。



















医療安全管理室では、院内の医療安全活動を通して患者さん・ご家族・職員の「安全・安心」を担保 し、医療事故の防止・再発防止に努めています。

事故防止の取り組みの1つに、KYT(危険予知トレーニング)というものがあります。例えば、皆さんが 車や自転車を運転しているとします。目の前には、見通しの悪い交差点が見えてきました。さて、皆さん はこれからどんなことが起こると思いますか?「急に横から車や人が飛び出すかもしれない。だから、一 度止まって安全を確認しなくては。」といったことを考えると思います。このように、自分や周りがこれから 行うこと(行われていること)に対して、どんな危険が潜んでいるのかを考えることで、その危険を回避す ることができます。病院においても同様で、医療・看護・福祉の場面にも危険は潜んでいます。 これからも KYT を積み重ねて、医療安全活動を行いたいと思います。

~患者さまの権利と責任~

患者さまの権利

- 1:良質な医療を受ける権利
- 2:選択の自由の権利
- 3:自己決定の権利
- 4:説明を受ける権利
- 5:情報の開示を求める権利
- 6:プライバシーの保護と秘密を保持される権利
- 7: 尊厳を得る権利

患者さまの責任

- 1:治療を受けられる患者さまとして、正確なご自身の精神的・身体 的・社会的な情報を医師に伝えていただく責任があります。
- 2: 患者さまご自身が医療へ参加していただく責任があります。
- 3:他の患者さまの診療に支障を与えない配慮をしていただく責任 があります。



荒尾こころの郷病院

TEL: 0968-62-0657

HP: http://senshinkai.or.jp/kokoro

広報委員のつぶやき

春になりポカポカと温かい日が多くなりましたね。 コロナの影響で桜の木の下でのお花見は出来ませんで したが、病室やホールの窓から見える桜はとても綺麗 でした。筍もスーパーに並び、食でも春を感じる今日 この頃です。

しかし花粉症に悩まされる方には辛い季節ですね。 私も薬が欠かせません。気温の変化等で体調を崩した り「春バテ」という言葉も最近聞かれます。季節の変 わり目は特に体調の変化に注意し、しっかり食べ睡眠 を十分にとって乗り越えましょう。

次回は7月号★

(広報委員会発行) 掲載期間: \sim R4.7.31